

公益財団法人 吉田育英会

団体情報

代表者 （理事長） 吉田 忠裕

住 所 〒130-8521 東京都墨田区亀沢 3-22-1

WEB サイト URL <http://www.ysf.or.jp>

「世界の若者たちを育て、世界の限らない平和を願う奨学財団」

公 益財団法人吉田育英会は 1967 年 3 月 27 日に富山県で設立され、県内出身者を対象として貸与奨学金プログラムを開始しました。当時、当会の出損母体である YKK は、企業として成長期にあり海外展開への布石をいち早く打とうと、様々な施策を積極果敢に押し進めている時期でした。1959 年のニュージーランドを皮切りに、1960 年にアメリカ、1964 年にはオランダに海外法人を設立するなど、YKK は海外における挑戦を一気に加速させていく中で、当会は誕生しました。

YKK の創業社長であり吉田育英会の設立者である吉田忠雄は、少年時代、ある一冊の本に心を揺さぶられます。それは、鉄鋼王として米国で大成功をおさめ、慈善活動家としても名を馳せたアンドリュー・カーネギーの自伝でした。社会への貢献活動に努めたカーネギーの半生に、いたく感動した吉田は、のちに「他人の利益を図らずして自らの繁栄はない」という YKK 精神『善の巡環』に至ります。また、少年期から成績優秀であったにも関わらず、家庭の経済的な事情で進学がかなわなかった吉田は、教育問題と人材育成につねに大きな関心を寄せてきました。1950 年代には、YKK の寄宿舎内に富山県立雄峰高等学校吉田学級を設置。

YKK の全額負担で、働きながら高校教育を受けることで卒業資格を得られる環境をつくっています。



設立者 吉田 忠雄 氏

一方で、海外展開を視野に入れ 1958 年から数度にわたって視察のための世界旅行を決行。自ら海外事業の可能性を模索する中で、国際舞台で活躍できる人材と、その育成がいかに重要であるかを痛感するようになりました。こうした中で得た『気づき』と、『善の巡環』にもとづく信念が共振する中で、当会の構想は確かなものとなっていきました。

夢は起きているときに見たいもの――。

吉田は、当会のアイデアを説明する際、そのように語りました。

語録集『なしたもんだの経営』においても、当会の設計図として「世界の若者たちを育て、世界の限りない平和を願うための“YKK 財団”」という表現で綴っています。プログラムも、こうした吉田の想いを展開するために、富山から全国、さらに世界へと対象を広げた他、貸与型から給付型へ移行。時代と共に、大学院生や日本人留学生、受入留学生を支援する奨学財団へと展開していきました。さらにカーターセンターへのインターン奨学生派遣やフルブライトプログラムへの協賛など、活動の多様性と国際性を高めてきました。吉田育英会の活動は、YKK 精神『善の巡環』が、一つの社会貢献活動の形をとり実践されているものです。

吉田育英会は 2017 年に設立 50 年を迎えました。現在、当会は、未来のリーダーとして国際舞台で活躍し、成果を社会に還元できる人材の育成を目指しています。主に国内外の自然科学系分野の大学院生を対象に、優秀な学生が、勉学や研究のチャンスに心置きなく挑戦できるよう、進学に先だって選考・採用を行い、高水準で返還不要な奨学金を提供しています。

また、当会では、奨学生を対象とした交流事業を実施しています。交流会や研修旅行等の機会を通じて、奨学生が互いの理解を深めることで、奨学期間終了後も末永い交友を結ぶことを期待しています。

交流会では会友（OB・OG）の皆さんから現役の奨学生にアドバイスや励ましの言葉をいただくこともあります。奨学生には、当会の活動を通じて、多様な専門分野の人と交流し、広い視野をもった心豊かな人に育っていただきたいと思います。

設立者吉田忠雄の想いは、50 年を経た今、多くの会友の皆様による様々な分野でのご活躍を通じ、社会的価値の向上において大きく結実しています。設立者の精神を引き継ぎながら、若い人材の未来を支えていく――。私たち吉田育英会は、そんな想いで奨学事業に取り組んでいます。

(2021.01)